

□主な内容

【第 7 回 EST 交通環境大賞の募集開始！】

今年度も EST 交通環境大賞の募集を開始しました。全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しております。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

【平成 27 年度に開催するセミナー・研修会の募集開始！】

以下のセミナー・研修会の参加者募集を開始しています。皆様のご参加をお待ちします。

〔9/8 第 7 回地域バス交通活性化セミナー(三沢)〕

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/7th_seminar.html

〔10/28-30 第 5 回地域の交通環境対策推進者研修会(藤沢)〕

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 108 回)

●「運転者支援の個別化による環境負荷削減」

【名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 山本 俊行】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 108 回)

●「長野市公共交通ビジョンの策定について」

【長野市企画政策部交通政策課 係長 駒村 克規】

3. ニュース／トピック

●第 7 回 EST 交通環境大賞の応募を開始【EST 普及推進委員会】

●全国 9 つの運輸局における「交通政策部」及び「観光部」の設置について【国土交通省】

●平成 27 年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の募集について【国土交通省】

●国土交通白書 2015(平成 26 年度年次報告)の刊行について【国土交通省】

●新国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」の開始について【環境省】

●関東運輸局環境対策アクションプラン(平成 27 年度版)の策定について【関東運輸局】

●平成 27 年度交通環境対策アクションプランの策定について【中部運輸局】

●「交通環境対策アクションプラン 2015」の策定について【近畿運輸局】

●平成 27 年度優良事業者等利用促進キャンペーン実施について【九州運輸局】

●平成 27 年度 JCOMM 四賞の各受賞者について【日本モビリティ・マネジメント会議】

●サークル K サンクスとの「バスの駅」設置推進協定の締結について【京都市交通局】

- 高知市低炭素型交通推進協定の締結について【高知市】
- 企業経営におけるモビリティマネジメント促進プロジェクトへの支援について【ドイツ連邦環境省】

4. イベント情報

- 第5回地域の交通環境対策推進者研修会(藤沢市)【2015/10/28-30】
- 第7回地域バス交通活性化セミナー「バスから考えるまちづくりのチャレンジ～多様な主体の連携をどうデザインするか～」【2015/9/8】
- 第8回MM(モビリティ・マネジメント)技術講習会【2015/7/30-31】
- 第7回「交通政策基本法の展開」フォーラム【2015/7/31】
- 第7回土木と学校教育フォーラム【2015/8/30】
- 第23回地球環境シンポジウム【2015/9/2-4】
- バスフェスタ 2015 in Tokyo【2015/10/3】
- 第22回ITS世界会議ボルドー2015【2015/10/5-9】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015【2015/10/24-25】
- 第13回ITSシンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第17回)【2015/12/10-12】

5. その他

- ESTパートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST普及推進委員会事務局はTwitterによる情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 108 回)

●「運転者支援の個別化による環境負荷削減」

【名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 山本 俊行】

暑い日が続き、私の大学では毎日のように節電への協力を要請するメールが届きます。さらに、ピーク電力抑制目標値に近づいてくると空調停止時間割振表にしたがってエアコンを停止するよう要請するメールが届き、最近では「目標値を超過してしまいました」との残念な結果報告メールが夕方に届くことが続いています。どうやら節電要請が恒常的になって要請を受け取る方の感度が鈍くなって来たのか、電力負荷の高い機器等が増えて、ちょっとやそつとの節電では間に合わなくなってきたようです。協力要請メールについては、いつも同じような内容のメールが全構成員に配信されているので、最初は協力していた人も、だんだん意思が薄れてきたのではないかと思います。ここはやはり、モビリティマネジメントのコミュニケーション手法を援用し、個別化された情報を適切に提供することが必要なのではないかと感じています。

我々の研究グループでは、自動車の運転者に対して個別化された交通情報の提供や、運転者の運転能力に応じた運転支援を行うための研究を行っています。高齢化が進んだ我が国では、高齢ドライバーも増加しており、高齢ドライバーによる事故が問題になっています。交通事故は運転者や車両等の人的・物的損失をもたらすだけでなく、交通事故による渋滞は大きな環境負荷にもなっています。

高齢者を含む様々な運転者に対して適切に情報提供や運転支援を行うためには、運転者の特性を把握し、その特性に応じたアプローチが重要です。高齢者は危険を認知する能力が衰えていたり判断速度が遅いといった傾向があり、一方で、運転免許を取得してまもない初心運転者は運転経験の浅さから不適切な状況判断をするといった問題もあります。もちろん、これらの傾向は個人差が大きく、個々のドライバーの特性を知ることが不可欠です。車載機器やスマートフォンを使って各ドライバーの運転挙動をモニタリングすることで、初めて適切に個別化された情報提供や運転支援が可能になります。交通事故を防ぐだけでなく、スムーズな運転を実現することで交通流の乱れを抑制し、その結果として自動車走行による二酸化炭素排出量削減も期待できます。運転者本人だけでなく、周りの運転者に情報提供したり、協調的な運転を支援することで、さらに効果は大きくなります。個人情報取り扱いには十分な注意が必要ですが、個別化のためには個人を識別して情報を蓄積、利用する必要があります。もたらされる便益とリスク、受容性を考慮しつつ社会的に最適なバランスで個別化を進めるべきでしょう。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 108 回)

●「長野市公共交通ビジョンの策定について」

【長野市企画政策部交通政策課 係長 駒村 克規】

長野県長野市では、モータリゼーションの進展はもとより、今後見込まれる人口減少により、民間事業者による独立採算ベースでの輸送サービスの提供が困難な状況が予想されています。しかしその一方で、高齢化の進展に伴う自家用自動車を運転できない高齢者の増加、広い市域を抱えた本市における各地域間・生活拠点間を結ぶこと役割、中山間地域などで事業者が不採算路線から撤退することによる交通空白地域の出現、北陸新幹線長野・金沢間開業に伴う観光振興に資する二次交通の確保など、公共交通の果たす重要性が増しており、公共交通の確保が大きな課題となっています。

このような状況に対して、将来にわたって安定した公共交通を構築していくため、「長野市公共交通ビジョン」を平成 27 年 6 月に策定しました。

ビジョンでは、本市の公共交通の将来像「人をつなぎ まちを育て暮らしを守る公共交通」を実現するため、3 つの基本方針を掲げています。基本方針①将来も安定して運行を続ける公共交通では、過度な自動車利用からの脱却を図り、環境負担の少ない社会の実現に向け、公共交通への転換に市民の意識を変えること、また、地域において地域公共交通の問題意識を共有し、地域住民が主体的に問題解決に向けた取組みに参加できる環境を整えます。交通空白地域において市が赤字補填して確保している交通手段は、運行維持基準を設定し、基準に満たない場合、地域住民が主役となった運行方法へ移行していく仕組みを構築します。

基本方針②公共交通ネットワークの再構築では、「公共交通は、必要不可欠な都市機能」の一つと考え、利用する目的に応じて、誰もが自由に移動でき、交流を促し経済活動に寄与する交通環境の整備を目指します。

基本方針③分かりやすく利用しやすい公共交通では、高齢者及び障害者の円滑な移動手段の確保のためバリアフリー化の推進、バスロケーションシステム導入など積極的な情報提供や利用環境の向上を図ります。

公共交通の維持・確保のため、市民、運行主体、行政が互いの役割を認識し、その責任のもとで連携して取り組んでまいります。

3. ニュース／トピック

●第7回 EST 交通環境大賞の応募を開始【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞の募集を開始しました。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

●全国9つの運輸局における「交通政策部」及び「観光部」の設置について【国土交通省】

国土交通省では、7月1日に全国9つの運輸局に「交通政策部」及び「観光部」を設置しました。交通環境対策は、交通政策部において推進されることとなり、今後、両部が中心となって、地方公共団体、交通事業者、経済団体をはじめとする地域の関係者と連携・協力し、地域公共交通の活性化や、交通環境対策の推進、観光立国の実現などに取り組んでいきます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo04_hh_000065.html

●平成27年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の募集について【国土交通省】

国土交通省では、温室効果ガスの排出削減による地球温暖化の防止と低炭素型の物流体系の構築を図るため、荷主企業及び物流事業者等物流に係る関係者によって構成される協議会が実施するモーダルシフト等の取組みを支援する「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の募集を開始しました。〔募集締切:8月19日(水)〕

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000213.html

●国土交通白書2015(平成26年度年次報告)の刊行について【国土交通省】

国土交通省は、国土交通白書2015(平成26年度年次報告)を刊行しました。第I部では、「将来世代にわたる豊かな暮らしを実現するための国土・地域づくり」をテーマとして取り上げ、本格的な人口減少社会における国土・地域づくりについて考察し、今後の方向性として「コンパクト＋ネットワーク」の考え方の重要性について記述しています。第II部では、東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組みや、社会資本の老朽化対策、交通政策の推進等、国土交通省が平成26年度に実施した施策等について紹介しています。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004156.html

●新国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」の開始について【環境省】

環境省では、豊かな低炭素社会づくりに向けた知恵や技術を、みんなで楽しく共有し、発信していこうという気候変動キャンペーン「Fun to Share」を展開しています。この度、政府が開始した、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標

のもとに行う国民運動「COOL CHOICE」においても、「Fun to Share」で共有・発信された知恵や技術をはじめ、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促していきます。

<http://www.env.go.jp/press/101177.html>

● 関東運輸局環境対策アクションプラン(平成 27 年度版)の策定について【関東運輸局】

関東運輸局では、「地球温暖化問題への取組」、「大気汚染・海洋汚染問題等への取組」、「循環型社会の形成に向けた取組」、「行政の率先的取組及び環境意識の普及啓発」の 4 つの柱を立てた関東運輸局環境対策アクションプランを策定しました。

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1506/te_p150625.pdf

● 平成 27 年度交通環境対策アクションプランの策定について【中部運輸局】

中部運輸局では、地球温暖化をはじめとする環境問題に関し、交通環境対策を積極的に推進しています。この度、平成 26 年度における取組みの評価を踏まえ、「平成 27 年度交通環境対策アクションプラン」を策定しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kisya015/koukan20150630-2.pdf>

● 「交通環境対策アクションプラン 2015」の策定について【近畿運輸局】

近畿運輸局及び神戸運輸監理部では、交通部門に起因する地球温暖化問題等への取り組みを着実に推進していくため、「交通環境対策アクションプラン 2015」を策定しました。これをもとに、CO2 等の温室効果ガスを削減するため、交通環境対策の取り組みを進めて参ります。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/torikumi/actionplan2015.pdf>

● 平成 27 年度優良事業者等利用促進キャンペーン実施について【九州運輸局】

九州運輸局では、関係事業者団体とともに、平成 24 年 7 月に「九州運輸局所管優良事業者等利用促進協議会」を立ち上げ、これらの認定・認証制度等について広く周知を図り、優良事業者の積極的な利用を促進し、運輸事業界において「安全確保」・「環境保全」に対する取り組みの向上を促すことを目的に、平成 24 年度から毎年キャンペーンを実施しています。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/2015-0723-syohigyosei.htm>

● 平成 27 年度 JCOMM 四賞の各受賞者について【日本モビリティ・マネジメント会議】

日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)では、国内の様々なモビリティ・マネジメントについて特に優秀な取り組みや研究を表彰する、JCOMM 賞の平成 27 年度の各賞受賞者を選定し、第 10 回日本モビリティ・マネジメント会議において表彰しました。

http://www.jcomm.or.jp/award/jcomm_award_winners_27.html

●サークル K サンクスとの「バスの駅」設置推進協定の締結について【京都市交通局】

この度、バスをお待ちのお客様及びコンビニエンスストアをご利用のお客様、双方の利便性向上を図ることを目的として、株式会社サークル K サンクスと協働で、バス停に近接した「サークル K」の店舗内に「バスの駅」を設置していくこととなりました。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000185330.html>

●高知市低炭素型交通推進協定の締結について【高知市】

高知市では、公共交通及び自転車を利用する低炭素型交通の推進を図ることにより、地球温暖化の防止及び持続可能な低炭素・資源循環型「高知市」の形成に貢献することを目的とし、量販店事業者（株式会社エースワン・株式会社サニーマート・株式会社サンシャインチェーン本部）・とさでん交通株式会社と「高知市低炭素型交通推進協定」を締結しました。平成 27 年度は、3 事業者 6 店舗にて「サイクル&ショッピング」を実施します。

<http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/139/teitansogata-kotu-suishin.html>

●企業におけるモビリティマネジメント促進プロジェクトへの支援について【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、ヨーロッパ自動車クラブ(ACE)が実施する、企業におけるモビリティマネジメントを進めるプロジェクトに、今後 3 年間で合計 160 万ユーロを拠出することを公表しました。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/hendricks-foerdert-pilotprojekt-fuer-betriebliches-mobilitaetsmanagement/>

4. イベント情報

●第 5 回地域の交通環境対策推進者研修会（藤沢市）

日時：2015 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

場所：藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール①ほか

主催：EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

●第 7 回地域バス交通活性化セミナー「バスから考えるまちづくりのチャレンジ～多様な主体の連携をどうデザインするか～」

日時：2015 年 9 月 8 日（火）13:30～16:50

場所：三沢市公会堂 3 階 第 8、9 集会室

主催：エコモ財団、東北運輸局、特定非営利活動法人まちもびデザイン

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/7th_seminar.html

●第 8 回 MM(モビリティ・マネジメント)技術講習会

日時：2015 年 7 月 30 日（木）、31 日（金）

場所: グランドヒル市ヶ谷

主催: 一般財団法人計量計画研究所

<http://www.ibs.or.jp/release/542>

● 第 7 回「交通政策基本法の展開」フォーラム

日時: 2015 年 7 月 31 日(金) 18:30~20:30

場所: 中央大学駿河台記念館 560 号室

主催: NPO 法人エコエネルギーによる地域交通システム推進協会

http://homepage3.nifty.com/sustran-japan/datafile/kihon_20150731.pdf

● 第 7 回土木と学校教育フォーラム

日時: 2015 年 8 月 30 日(日) 9:00~17:00

場所: 土木学会(講堂、会議室)

主催: 土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/33>

● 第 23 回地球環境シンポジウム

日時: 2015 年 9 月 2 日(水)~4 日(金)

場所: 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟

主催: 土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/global/sympoC>

● バスフェスタ 2015 in Tokyo

日時: 2015 年 10 月 3 日(土)

場所: 都立代々木公園・ケヤキ並木

主催: 一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://www.bus.or.jp/event/>

● 第 22 回 ITS 世界会議ボルドー2015

日時: 2015 年 10 月 5 日(月)~9 日(金)

場所: Congre et Expositions de Bordeaux

主催: TOPOS

<http://itsworldcongress.com/>

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/

● 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015

日時: 2015 年 10 月 24 日(土)、25 日(日)

場所: 東洋大学白山キャンパス1号館ほか
主催: 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会
<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

- 第13回 ITS シンポジウム 2015
日時: 2015年12月3日(木)、4日(金)
場所: 首都大学東京
主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京
http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

- エコプロダクツ 2015(第17回)
日時: (1日目)2015年12月10日(木)10:00~18:00
(2日目)2015年12月11日(金)10:00~18:00
(3日目)2015年12月12日(土)10:00~17:00
場所: 東京ビッグサイト 東ホール
主催: 一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社
<http://eco-pro.com/2015/>

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！
http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail:magazine@ecomor.jp(担当:熊井)

=====

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomor

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>